

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	教育委員会
	課室名	生涯学習課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
5 - 1 - 2	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を充実する
重点施策ID	重点施策名
5 - 1 - 2 - 1	誰もが気軽に楽しめるスポーツの振興

2. 事業名等	
事業名	社会体育推進事業
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	
事業主体	市
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 23 年度
根拠法規	
各種の計画への反映 (=根拠計画)	豊後大野市総合教育計画
事業ID	

3. 事業の内容等	
事業の背景	健康教室等で健康・体づくりに関心を持っている市民が増えているが、総合型地域スポーツクラブ等に加入し、継続的に健康・体づくりを行っている市民は、まだ少ない。
補助事業	名称
	補助率
	国 1/ 県 1/ その他 1/
起債の種類	① ② ③

事業の目的及び対象	事業概要
【目的】 スポーツ活動を通じて、健康・体づくりについても気軽に取り組むことができる環境を整える。また、競技スポーツの振興を図るため、体育協会等スポーツ関係団体の育成・支援を行う。	○ 健康や体づくりのためのイベント、生活習慣病予防や高齢者の健康・体づくりを目的とした健康教室等の開催。 ○ 総合型地域スポーツクラブの運営支援補助。 ○ 市体育協会等競技スポーツ関係団体の強化支援。
【対象】 市民	前年度の評価
	評価結果に基づき見直した内容
	E 維持

4. 予算・決算の状況		(単位：千円)						
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	2,000	800		200			
	一般財源	16,451	16,216	16,506	15,876	15,876	16,506	16,506
	計	18,451	17,016	16,506	16,076	15,876	16,506	16,506
決 算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	2,000	800		200			
	一般財源	16,451	16,216	16,506	15,876			
	計	18,451	17,016	16,506	16,076			

5. 実績及び達成目標等							
過去3年間の事業実績と課題							
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題				
【実績】 スポーツ教室・グラウンドゴルフ・スポーツ少年団キャンプ等のスポーツイベント等を開催	【実績】 スポーツ教室・グラウンドゴルフ・スポーツ少年団キャンプ等のスポーツイベント等を開催	【実績】 スポーツ教室・体力測定・ファミリー体操秋の運動会・スポーツフェスタ・クラブ交流会等の開催	①総合型地域スポーツクラブ会員の確保 ②市体育協会等競技スポーツ関係団体の強化				
達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	スポーツイベント等の開催回数						
効率指標	-						
成果指標	総合型地域スポーツクラブ加入者数						
			単 位 人				
年 度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備 考
種 別			加入者	加入者	加入者	加入者	
目標値			779	800	800	900	
実績値	874	947	779	751			
達成率			100.0%	93.9%			
備 考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	教育委員会
	課室名	生涯学習課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	生涯スポーツ・競技スポーツの振興は、市全体の活気のあるまちづくりのために必要である。また、国のスポーツ振興法でも、総合型地域スポーツクラブを育成することになっている。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	3	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	市民の健康・体力づくり、生きがいがづくり等考慮すると、市が実施主体となることが望ましいため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	個人で継続的に健康・体力づくりを行うことは難しく、スポーツクラブに加入することで継続できるため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	総合型地域スポーツクラブへの加入が一定程度は図れているため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	t o t o (スポーツ振興くじ)からの補助は、平成17年に三重、平成18年に緒方のスポーツクラブで終了し、平成19年度には市からの補助金も減額したため、クラブの維持には現在の補助が必要である。				
人 体 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	スポーツクラブの管理運営は、クラブマネージャーが行っている。市担当者は兼務で行っており、現状維持が望ましいため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	市民の健康・体力づくりの上で必要なため、現状維持が望ましい。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
生涯スポーツ関係の総合型地域スポーツクラブへの運営支援事業と、競技スポーツである市体育協会等関係団体への強化支援は、事業の目的や事業成果の目標となる指標等が異なる場合があるため、次年度より事業を分け評価する。					
部 長	課 長	班 長	担 当 者		
			内線 E-mail @bungo-ohno.jp		